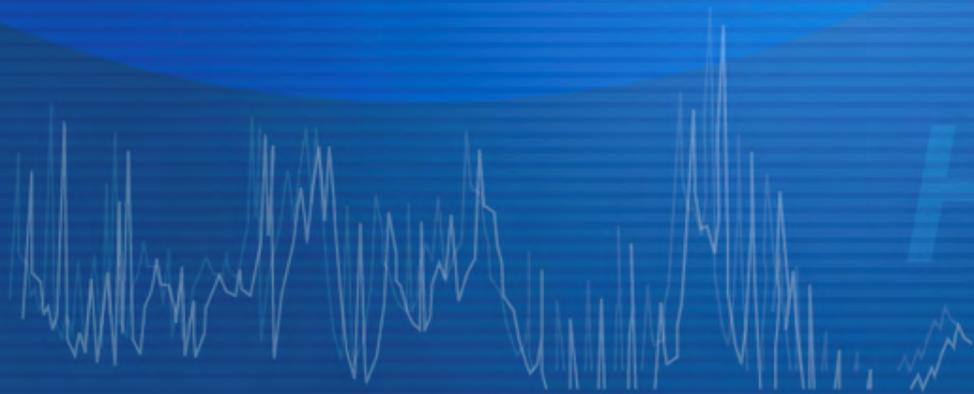


ONOSOKKI



# CF-4500 FFTコンパレータ 外部リレーの設定

Hz

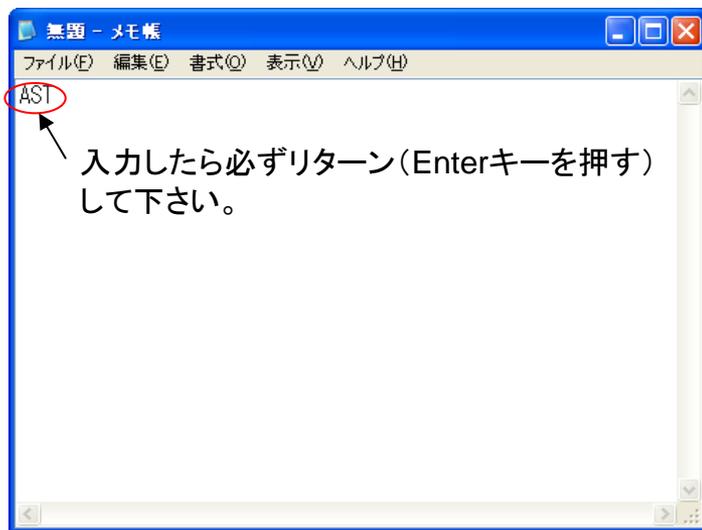


INPUT RELAY(外部リレー機能)を動作させるには、csvファイルを作成しそのファイルを本体にインポートする必要があります。パソコンのテキストエディタソフトを利用してファイルを作り、そのファイルをUSBメモリ経由でCF-4500本体にインポートします。

## 1. メモ帳を利用してcsvファイルを作ります。

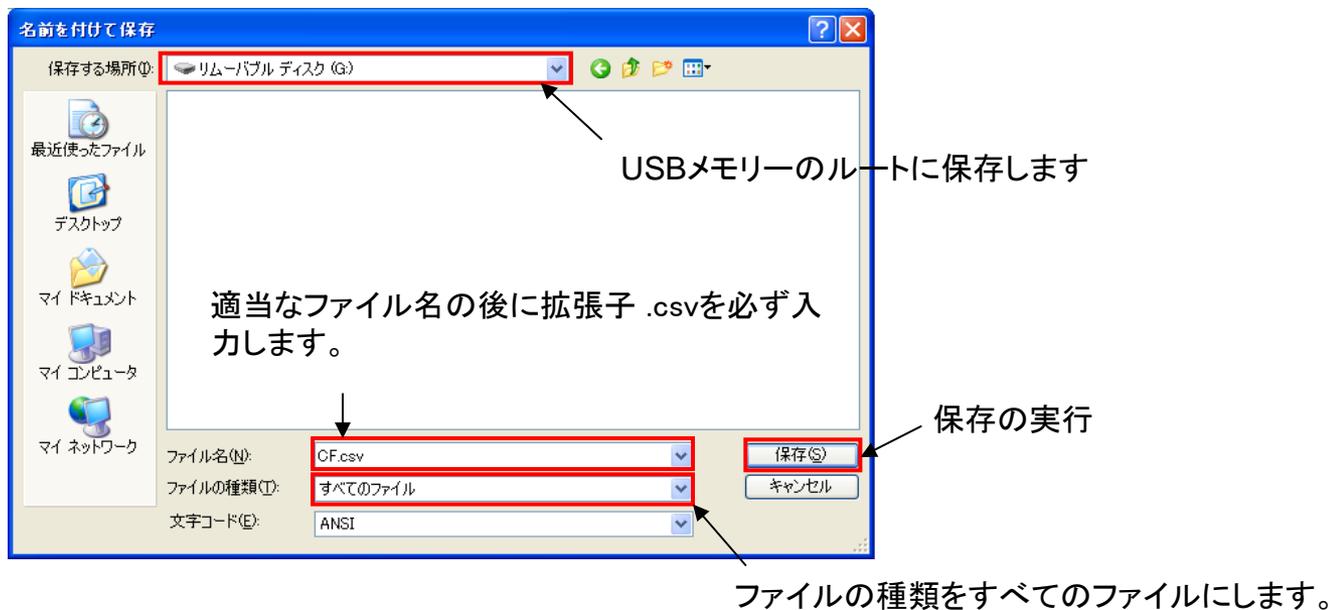
- ①PCのスタートメニューから、すべてのプログラム(P)→アクセサリ→メモ帳を起動します。
- ②メモ帳を利用して動作させる機能のRS-232CまたはLANコマンドを入力します。

例) 平均化スタート(AST)



## ③csvファイルを作ります。

メモ帳のファイル→名前を付けて保存と操作しファイル保存画面を立ち上げます。



※使用するUSBメモリーはTranscendまたはSanDisk製の2GBを推奨しますが、CF-4500とマッチするメモリーであれば他のものでも構いません。

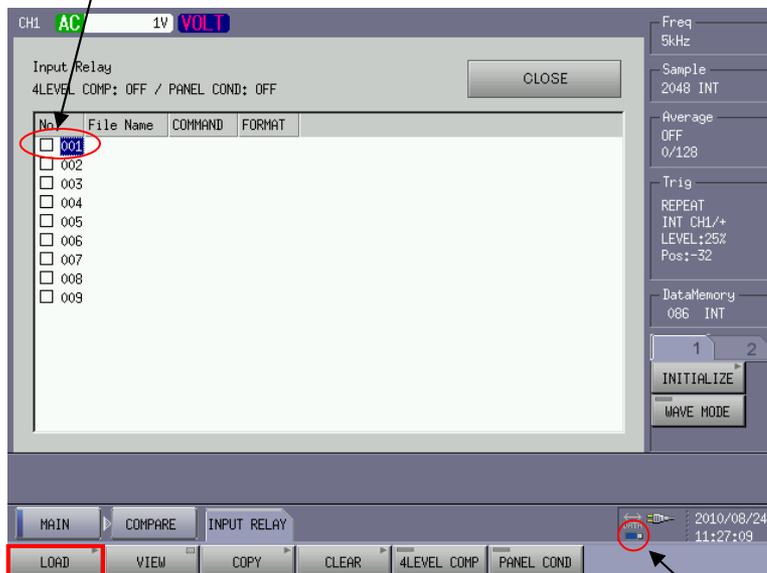
## 2. CF-4500本体に機能を割り付けます。

①CF-4500本体のInput Relay画面を立ち上げます。



②USBメモリーを本体に挿入します。

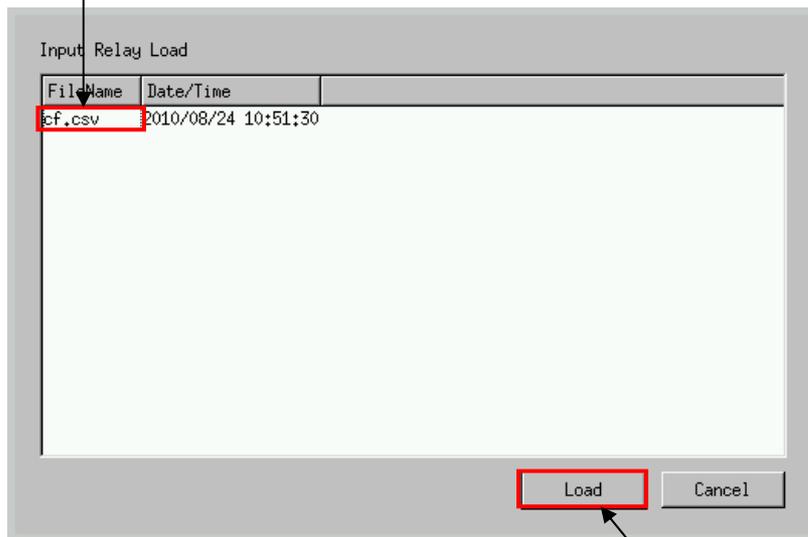
割り付けるリレー番号を反転表示させます。



LOADキーを押してファイルを読み込みます。

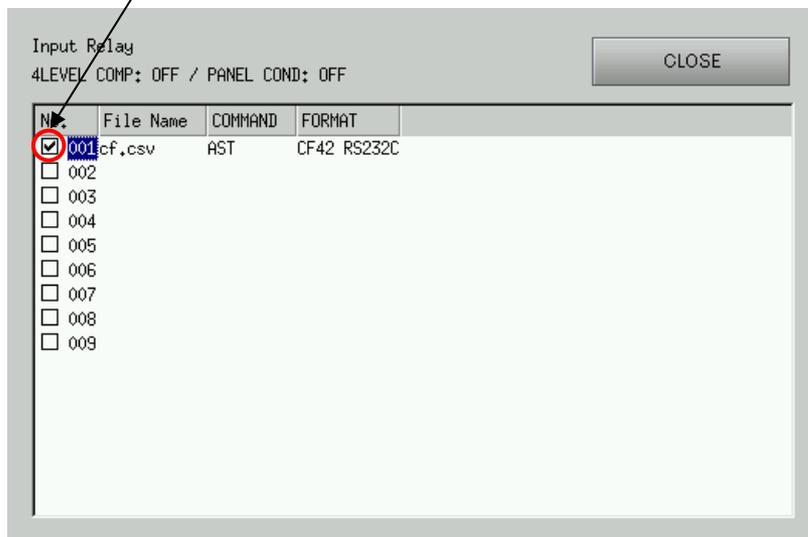
USBメモリーが認識されていれば濃紺色になります。

タッチして読み込むファイルを指定します。



ファイルの読み込みを実行します。

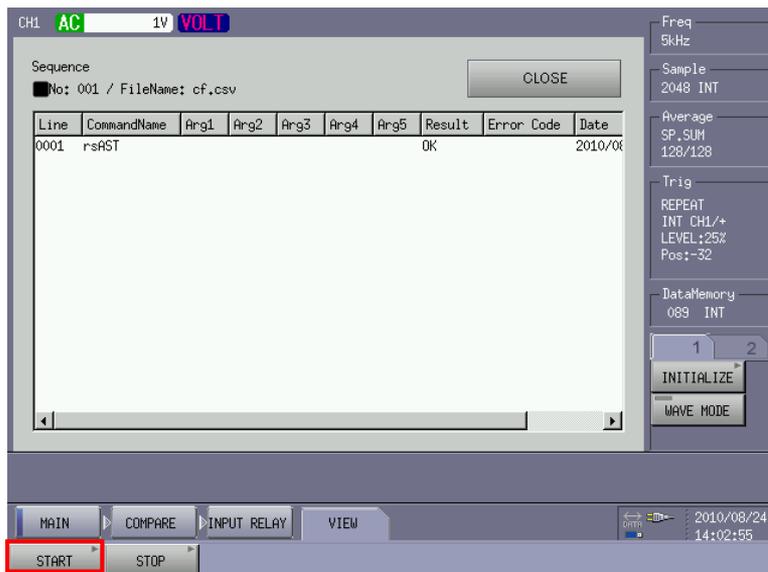
ファイルを読み込んだらチェックマーク(✓)を入れます。



## 3. 動作確認を行います。

外部リレーのビューを開きます。

メインメニュー



スタートを押して動作確認を行います。

※USBメモリーをCF-4500本体から抜く時は以下のように操作して下さい。

メインメニュー

